

●この説明書は、必ず施工される方にお渡しください。

### ■取付けられる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲警告** …取付けを誤った場合に、使用者が死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ▲警告

感電・漏電・火災の原因となりますので、下記事項を必ずお守りください。

- 電気工事は必ず電気工事士有資格者が行ってください。
- 電源はAC100V以外では使用しないでください。
- ダウンライトの電球は、指定以外の電球は使用しないでください。
- 本製品は屋外及びトイレ・浴室・脱衣所など、常時湿気や水のかかるおそれのある場所には施工しないでください。

### ▲注意

- 本製品は壁埋込み専用です。背板での固定による壁面への取付け施工は行わないでください。本体の転倒や落下の原因となります。
- 上下・左右に必ず補助部材を設けてください。本体が落下しケガをするおそれがあります。
- 本製品の施工時には、同梱の指定ねじを指定本数使用して施工してください。脱落の原因となります。
- ミニ扉タイプのキャビネットの連結は、2つまでとしてください。本体の転倒や落下の原因となります。
- 扉の吊込みは、扉の丁番カップがキャビネット側の座に「カチャッ」と音がするまではめ込んでください。扉の落下の原因となります。
- 棚板やカウンターに最大荷重をこえるものをのせないでください。棚やカウンターが破損し落下するおそれがあります。(棚板最大荷重15kg、カウンター最大荷重30kg、ニッチ台タイプ背板最大荷重5kg)

### ■取付け上のお願い

- 補助部材は、必ず乾燥材(含水率20%以下)を使用し、潤湿材は使用しないでください。
- 本製品は断熱・防水仕様ではありませんので、外壁に面した内壁には使用しないでください。
- 壁内の通気が悪く、内部結露の発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから施工してください。
- 柱・ボード・胴縁の厚みを考慮し、本体がボード仕上げ面より引っ込まないよう段差を残して取付けてください。(詳細は「本体の取付け／横断面図」をご覧ください。)
- 棚の取付け時には、同梱の棚ダボを使用してください。他の棚ダボを使用すると棚が固定されず、落下するおそれがあります。
- 本製品を立てかけて保管しないでください。不安定なため、製品が倒れて破損するおそれがあります。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きのドライバーを使用してください。ねじ頭をつぶすおそれがあります。
- 本製品の表面は、カラー合板を使用しております。汚れた手袋などで触れたり、キズをつけないよう運搬してください。又、汚れた場合は、柔らかい布に水、又は中性洗剤を含ませて、軽くふき取ってください。シンナーなどの溶剤は、絶対に使用しないでください。
- 本製品は必ず幅木とあわせて施工してください。床上にじかに設置すると扉が開かなくなるおそれがあります。
- 養生シートをかぶせる場合は、粘着テープなどを化粧面に張らないでください。はがす際に、化粧シートが損傷するおそれがあります。
- 発熱灯・発熱家電付近には取付けしないでください。熱により部品が変形するおそれがあります。
- 把手取付けねじは、手まわしドライバーで固定してください。強いトルクで締付けると、扉のへこみの原因となります。

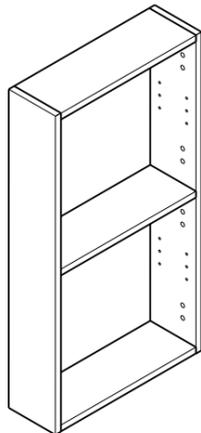
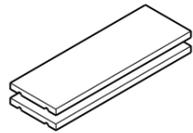
## 【ミニ扉タイプ】

### ■部材・部品一覧表

#### ■部品・部材一覧

●可動棚板(2枚)

●本体(キャビネット)



●部品セット



#### ■部品セット一覧表

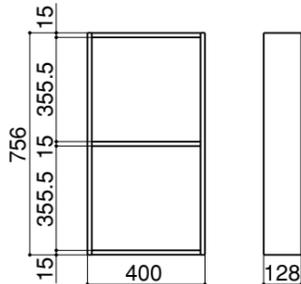
名称	姿図	入数
躯体固定ねじ(DNφ3.8×65)		4本
棚ダボ		8個
躯体固定ねじ用ワッシャー		4個
躯体固定ねじ用キャップ		4個
丁番穴隠しキャップ		8個
連結ねじ(φ4×28)		1本
連結ねじ用キャップ		1個

※扉は壁面収納用木目扉、又はアルミ扉を別途手配してください。

※丁番・丁番座及び把手は、扉に同梱しています。

### ■寸法図

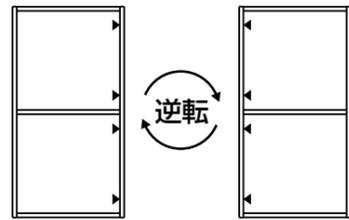
#### ■キャビネット寸法



※本製品は左右兼用です。天地を逆転させて吊元を決めます。

●右吊元

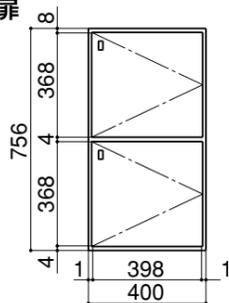
●左吊元



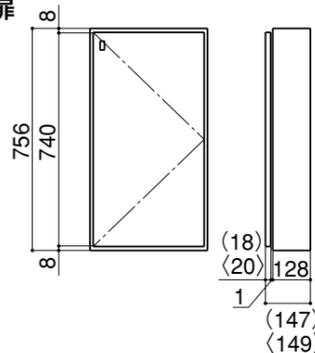
#### ■壁面収納用扉取付け時寸法

【単体で使用する場合】

●2枚扉



●1枚扉

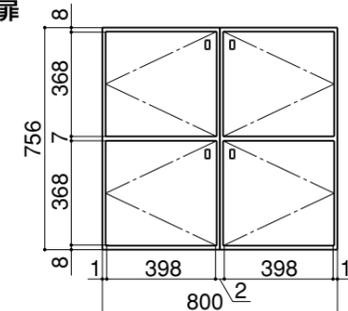


( )寸法:木目扉  
< >寸法:アルミ扉

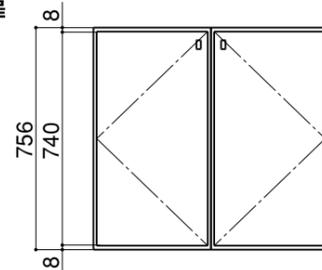
※木目柄扉は左右兼用です。アルミ扉は左右勝手があります。

【連結で使用する場合】

●4枚扉



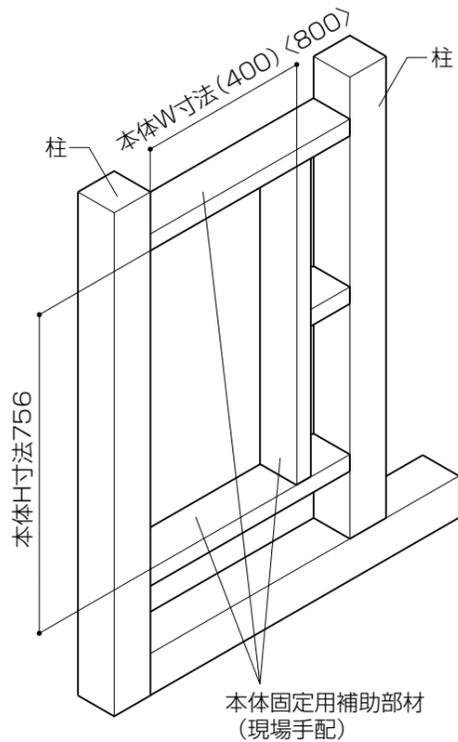
●2枚扉



### ■取付け手順

#### 1 開口部の作成

●本体の外形寸法に従って開口部を作成し、補助部材(現場手配)を取付けます。



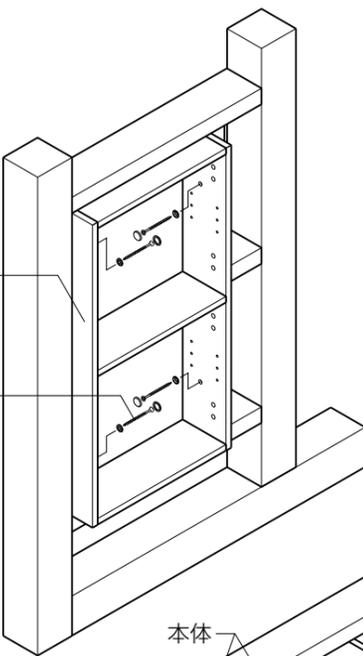
※( )寸法は、単体で使用する場合。  
※< >寸法は、連結で使用する場合。

#### 2 本体の取付け

【単体で使用する場合】

●本体を開口部に入れ、固定ねじ(4本)で固定します。  
※固定位置は、棚板の位置を避けてください。

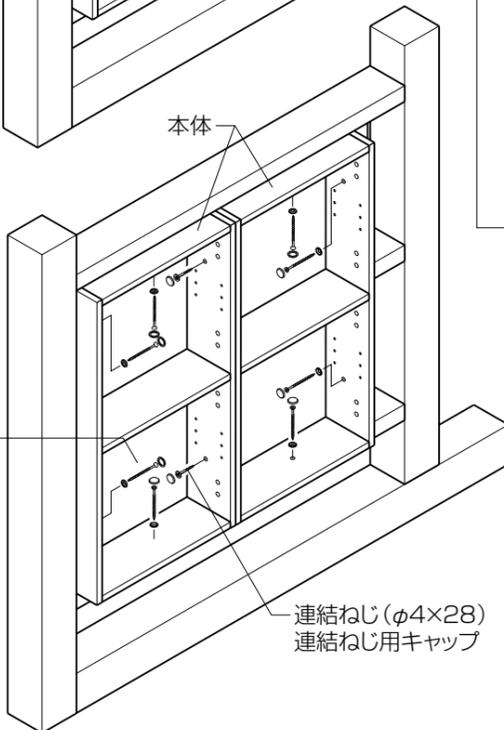
躯体固定ねじ(DNφ3.8×65)  
躯体固定ねじ用ワッシャー  
躯体固定ねじ用キャップ



【連結で使用する場合】

●本体を開口部に入れ、固定ねじ(4本)で側板と躯体及び天地板と躯体を固定し、キャビネットの合わせ部分を連結ねじ(2本)で固定します。

躯体固定ねじ(DNφ3.8×65)  
躯体固定ねじ用ワッシャー  
躯体固定ねじ用キャップ



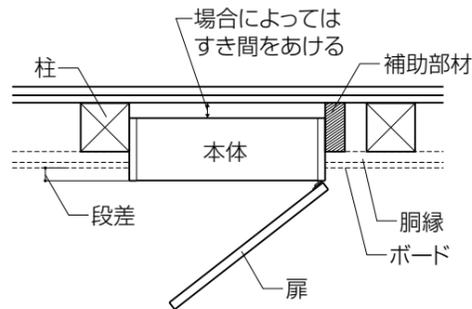
連結ねじ(φ4×28)  
連結ねじ用キャップ

### ▲注意

●キャビネットの連結は、2つまでとしてください。

#### ■横断面図

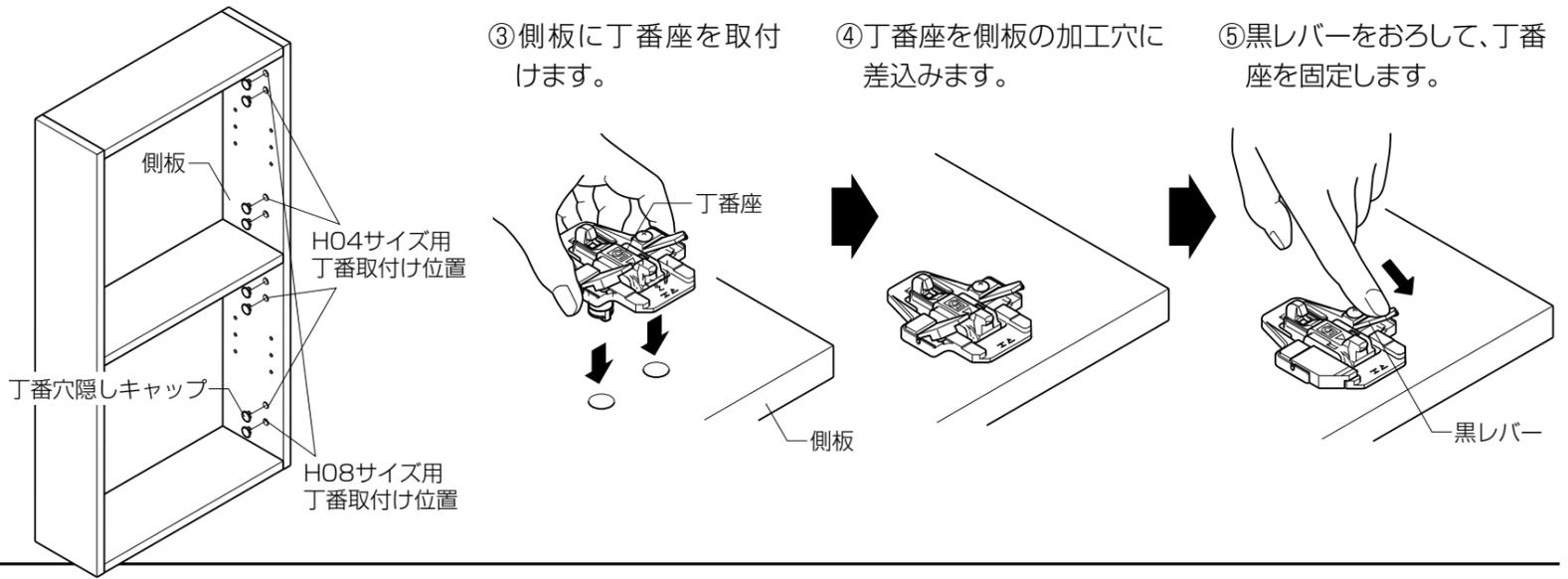
※柱・ボード・胴縁の厚みを考慮し、本体がボード仕上げ面より引込まないよう下図の段差を残して取付けてください。



### 3 丁番座の取付け

①壁面収納用扉H=04・08サイズの扉が取付けことができます。

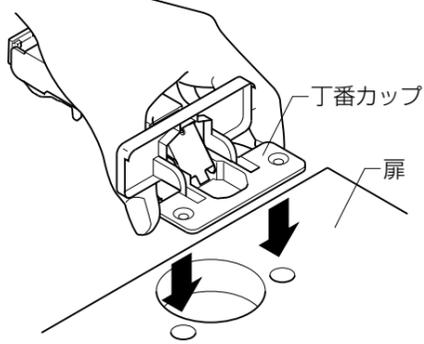
②丁番を取付けない部分には、同梱されている丁番穴隠しキャップを取付けてください。



### 4 扉の取付け

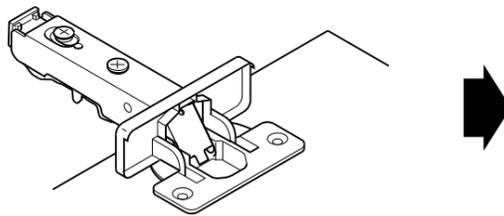
#### 1 扉への丁番取付け

①扉に丁番を取付けます。

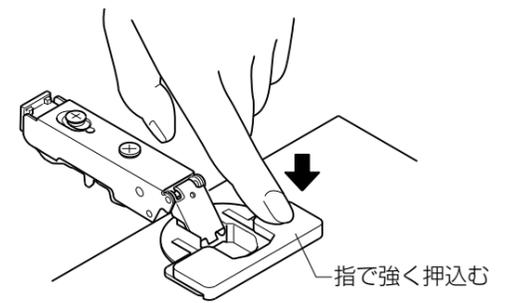


②丁番カップのカバーを90°に開いて、本体の丁番カップ取付け穴に丁番カップを差込んでください。

※ワンタッチ式ですので、ねじ止めは不要です。



②扉と丁番カップにすき間がないことを確認したら「パチッ」というまでカバーを強く押込んでください。

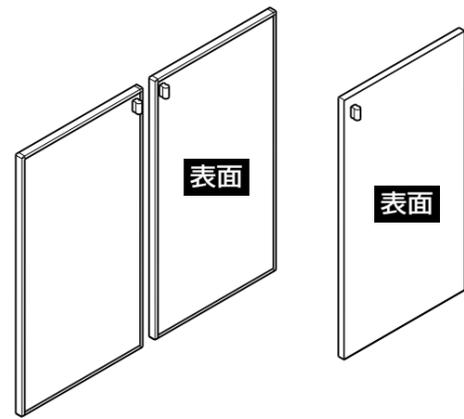


#### 2 扉の左右勝手確認

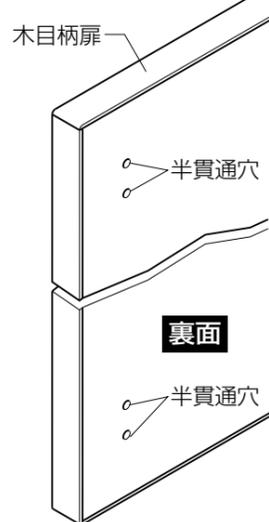
●アルミ扉には、左右勝手があります。木目柄扉は、把手穴加工により左右勝手を現場で決めます。※扉は天地を逆にして取付けられます。

お願い  
●当て木をしないうで穴を開けると、シートがめくれる原因となります。

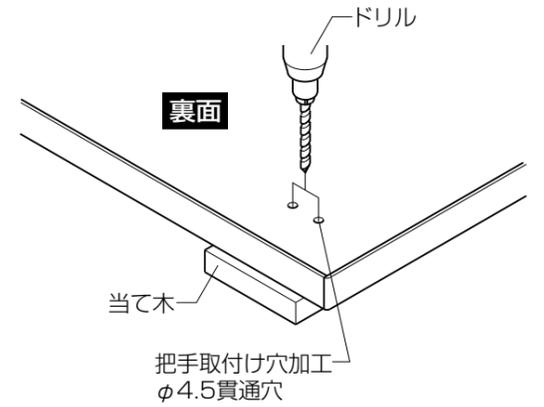
#### ■アルミ扉



#### ■木目柄扉



●把手の取付け穴加工をする際は、必ず当て木を使用してください。(木目柄扉のみ)

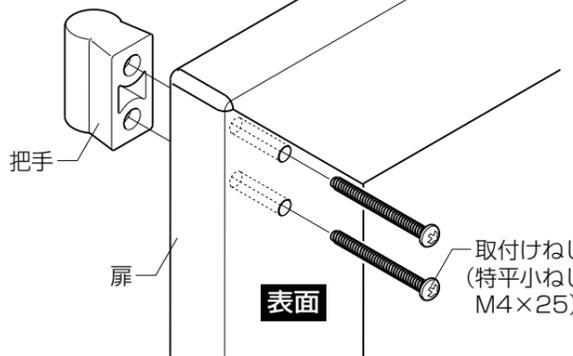


#### 3 把手の取付け

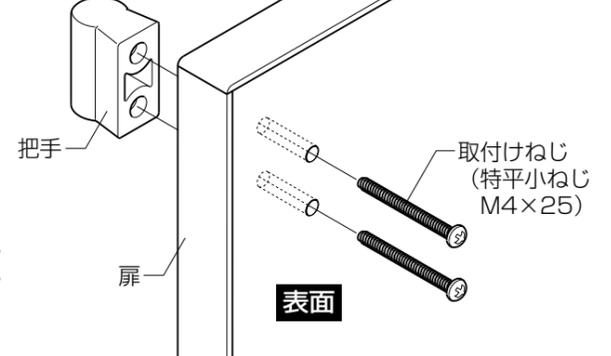
●同梱の把手を取付けてください。

お願い  
●把手取付けねじは、手まわしドライバーで固定してください。強いトルクで締付けると、扉のへこみの原因となります。

#### ■アルミ扉



#### ■木目柄扉



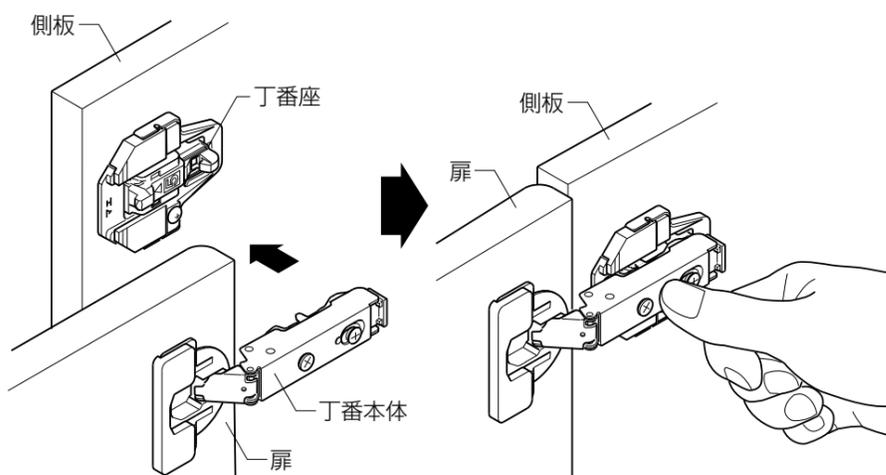
### 5 扉の取付け

#### 1 扉の取付け

●扉の吊込み後、3回程開閉を行い、丁番がきちんと取付けられているか必ず確認してください。

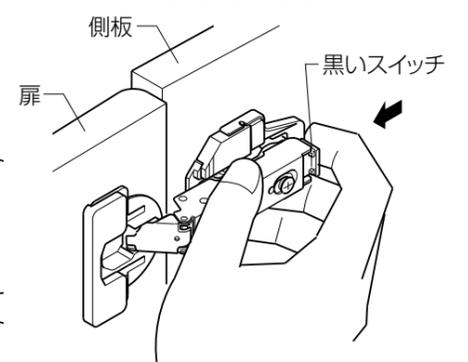
#### ▲注意

●扉を本体に取付ける際は、丁番本体が「カチャッ」と音がするまではめ込んでください。扉の脱落の原因となります。

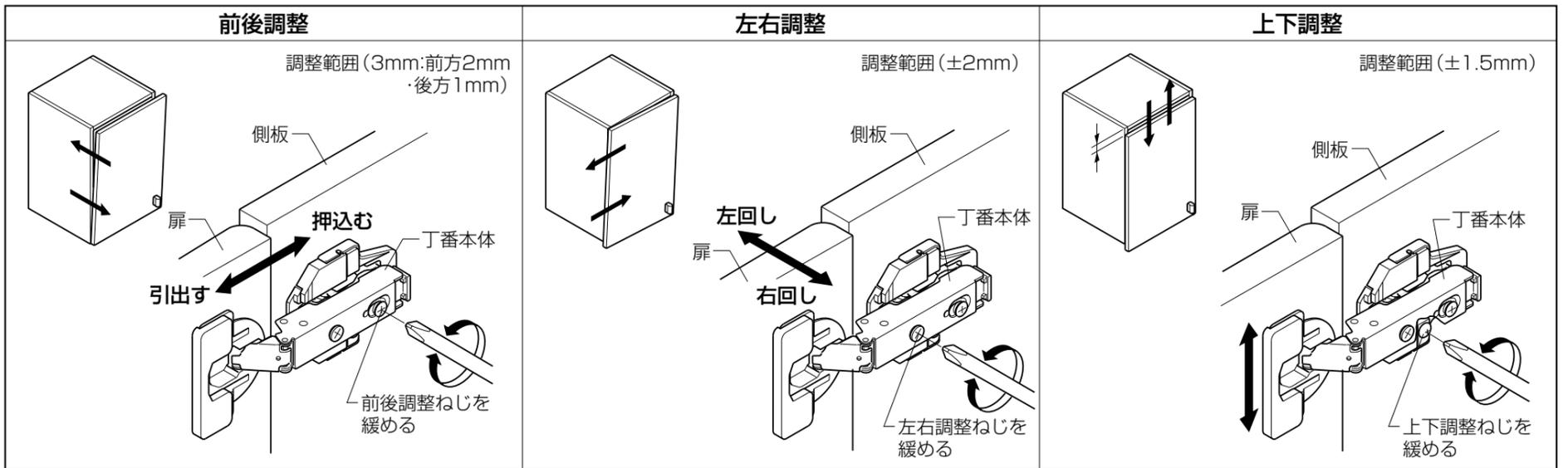


#### 2 扉の取外し

●扉を外す際は、丁番本体の黒いスイッチを押してください。



## 6 扉の調整



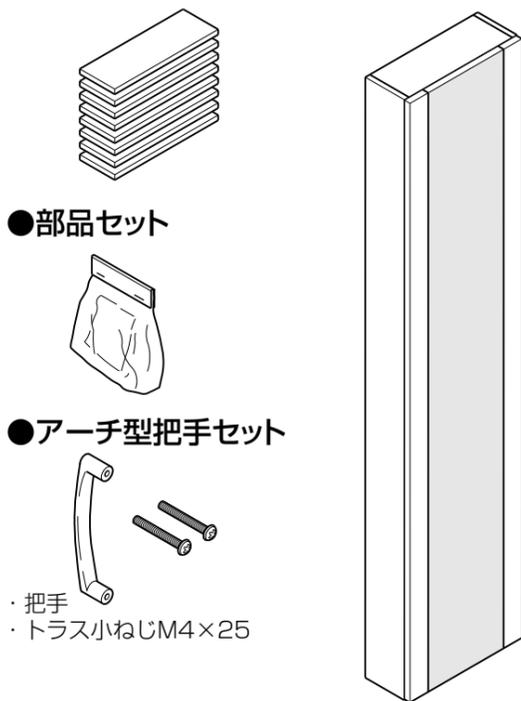
### 【ミラー扉タイプ・飾り棚付タイプ】

#### ■部材・部品一覧表

#### 【ミラー扉タイプ】

#### ■部品・部材一覧

- 可変可動棚板(8枚)
- 本体(扉取付け済)

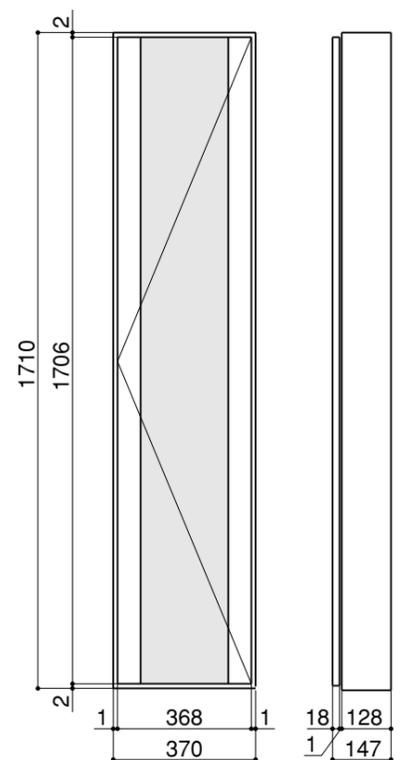


#### ■部品セット一覧表

名称	姿図	入数
躯体固定ねじ(DNφ3.8×65)		6本
棚ダボ躯体固定ねじ用ワッシャー		6個
躯体固定ねじ用キャップ		6個
可変可動棚用ダボL・R(本体取付済)		各16個

#### ■寸法図

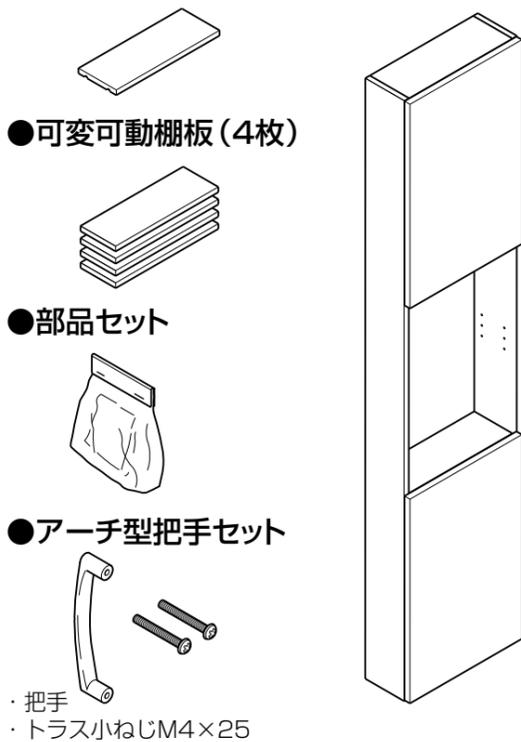
#### 【ミラー扉タイプ】



#### 【飾り棚付きタイプ】

#### ■部品・部材一覧

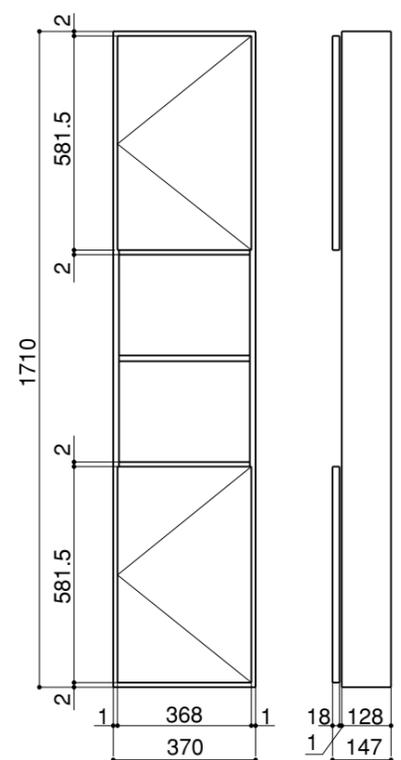
- 可動棚板(1枚)
- 可変可動棚板(4枚)
- 部品セット
- アーチ型把手セット
- 本体



#### ■部品セット一覧表

名称	姿図	入数
躯体固定ねじ(DNφ3.8×65)		6本
躯体固定ねじ用ワッシャー		6個
躯体固定ねじ用キャップ		6個
棚ダボ		4個
可変可動棚用ダボL・R(本体取付済)		各8個

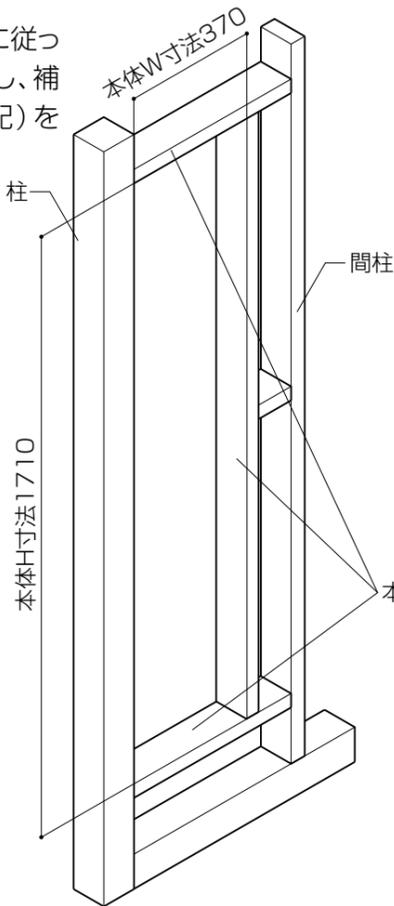
#### 【飾り棚付きタイプ】



## ■取付け手順

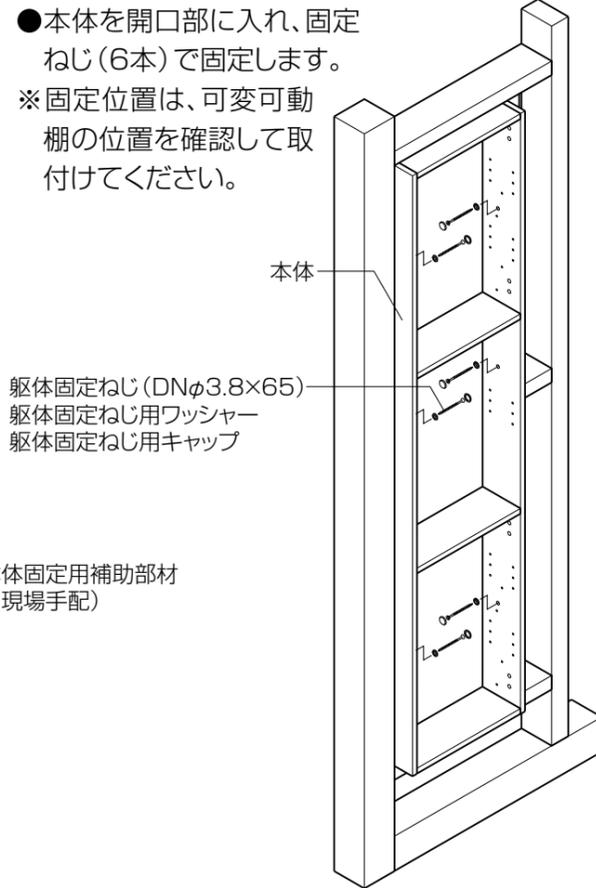
### 1 開口部の作成

- 本体の外形寸法に従って開口部を作成し、補助部材（現場手配）を取付けます。



### 2 本体の取付け

- 本体を開口部に入れ、固定ねじ（6本）で固定します。
- ※固定位置は、可変可動棚の位置を確認して取付けてください。

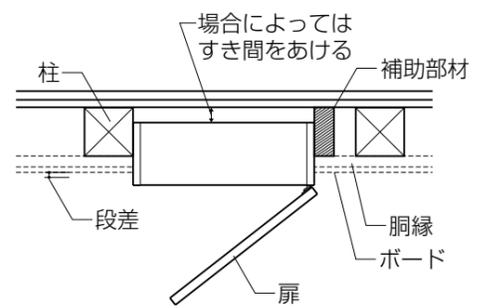


お願い

- キャビネットには上下があります。側板の外側の上ラベルを確認のうえ、上下を間違えないように施工してください。
- キャビネットは、必ず幅木とあわせて施工してください。床の上にだけに設置すると、扉が開かなくなるおそれがあります。

### ■横断面図

※柱・ボード・胴縁の厚みを考慮し、本体がボード仕上げ面より引込まないように下図の段差を残して取付けてください。



### 3 把手の付替え

- 扉裏側に取付けてある把手を外し、扉表側に付替え直します。

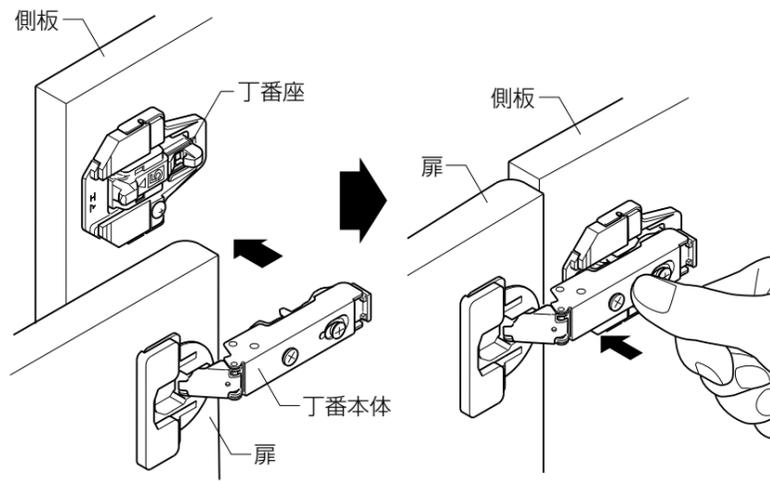
### 4 扉の取付け

#### 1 扉の取付け

- 扉の吊込み後、3回程開閉を行い、丁番がきちんと取付けられているか必ず確認してください。

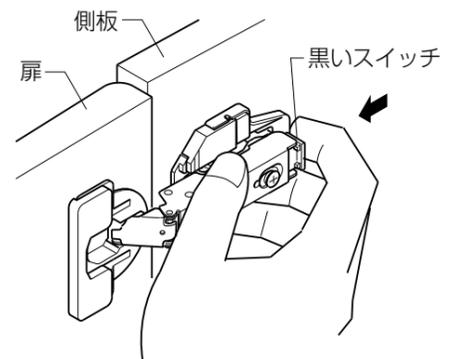
#### ▲注意

- 扉を本体に取付ける際は、丁番本体が「カチャッ」と音がするまではめ込んでください。扉の脱落の原因となります。

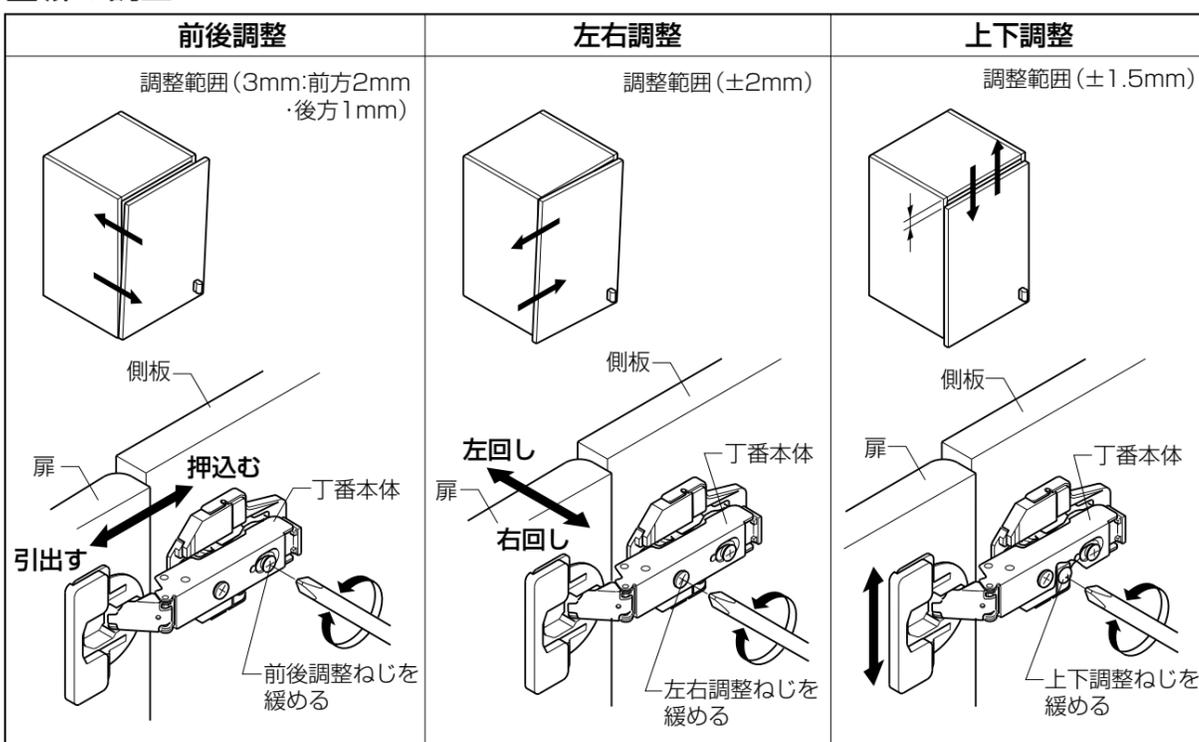


#### 2 扉の取外し

- 扉を外す際は、丁番本体の黒いスイッチを押してください。

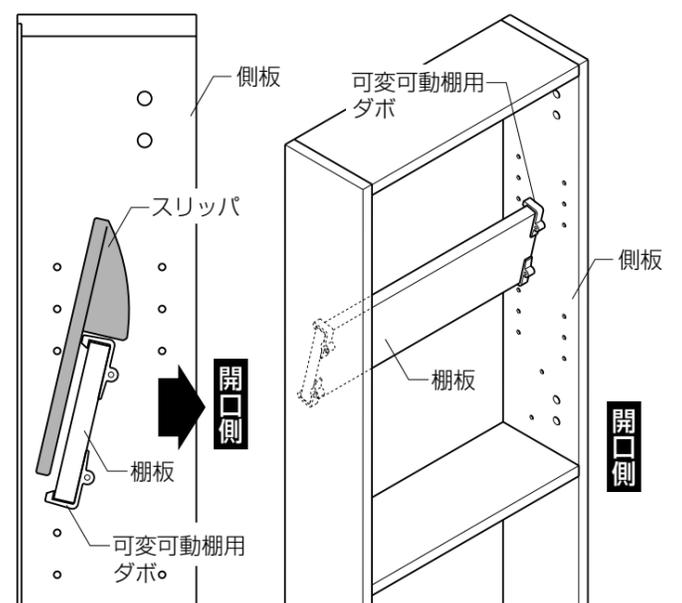


### 5 扉の調整



### 6 可変可動棚の使い方

- 棚を斜めに取付けることで、スリッパの収納として使用できます。
- ※ミラー扉タイプは下7段、飾り棚付タイプは扉の中の4段が対応しています。



### ■スリッパ収納数

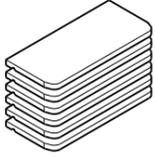
タイプ	入数
ニッチ台タイプ	10足
飾り棚付タイプ	6足

## 【オープン棚タイプ】

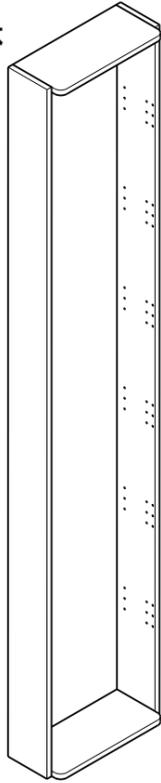
### ■部材・部品一覧表

#### ■部品・部材一覧

##### ●可動棚板(6枚)



##### ●本体



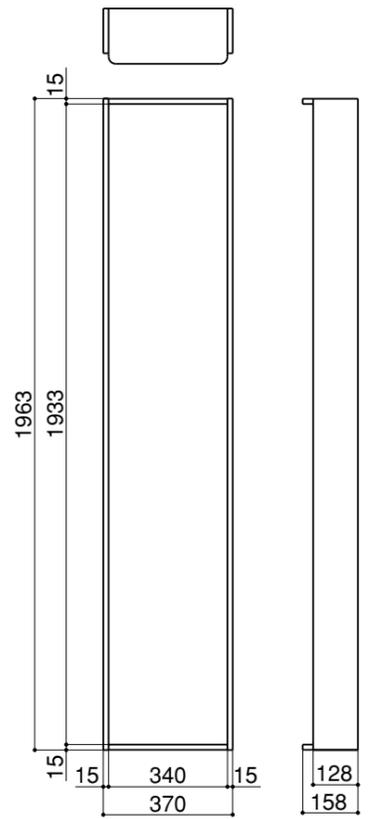
##### ●部品セット



### ■部品セット一覧表

名称	姿図	入数
躯体固定ねじ(φ4.5×50)		8本
躯体固定ねじ用キャップ		8個
棚ダボ		12個
前倒れ防止ダボ		12個

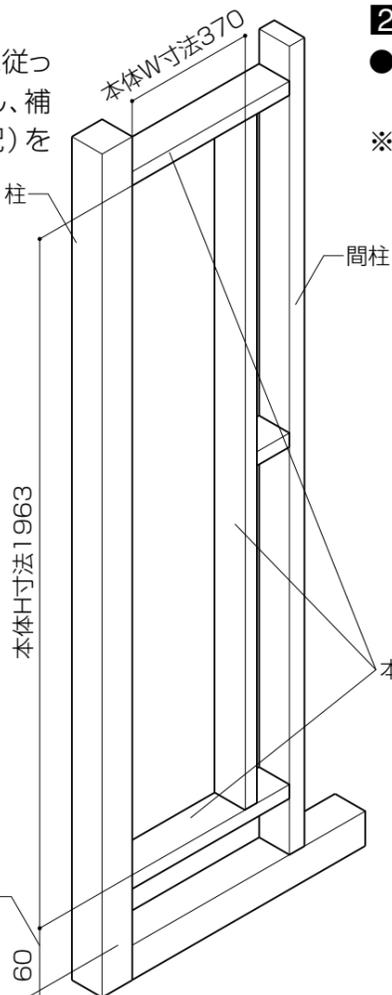
### ■寸法図



### ■取付け手順

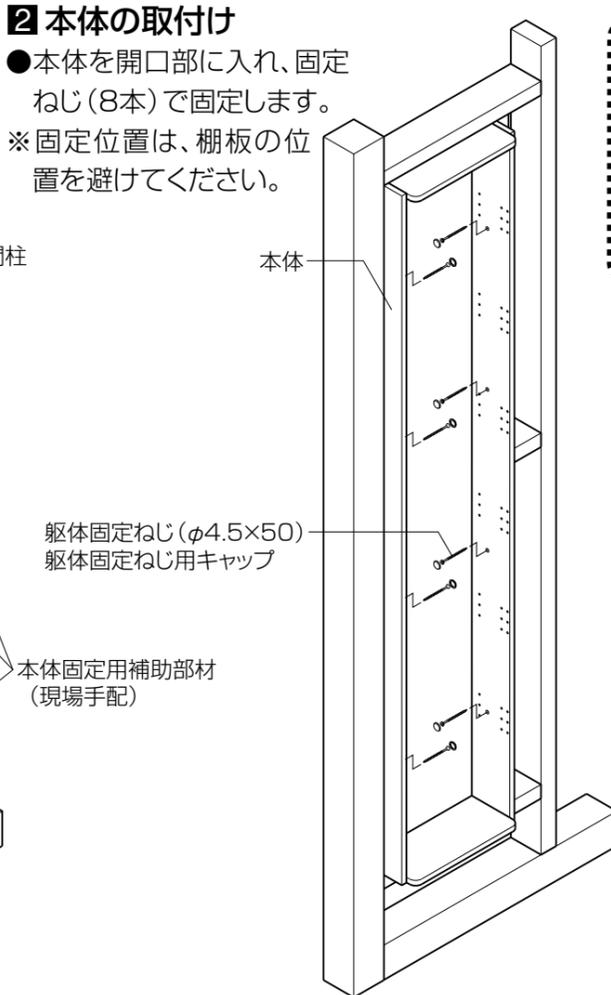
#### 1 開口部の作成

- 本体の外形寸法に従って開口部を作成し、補助部材(現場手配)を取付けます。



#### 2 本体の取付け

- 本体を開口部に入れ、固定ねじ(8本)で固定します。  
※固定位置は、棚板の位置を避けてください。

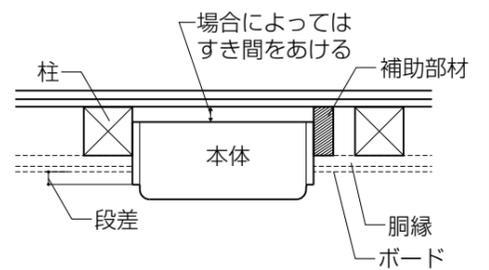


#### お願い

- キャビネットには上下があります。側板の外側の上ラベルを確認のうえ、上下を間違えないように施工してください。
- キャビネットは、必ず幅木とあわせて施工してください。

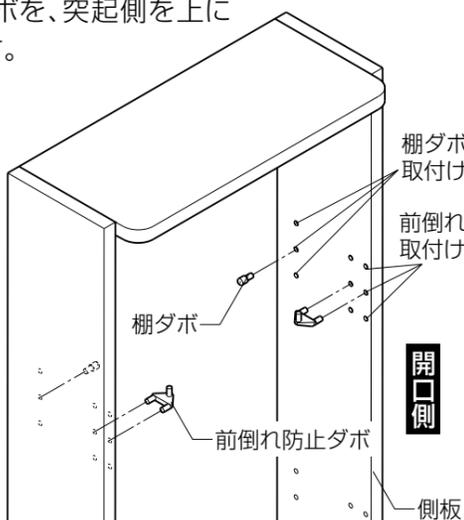
#### ■横断面図

※柱・ボード・胴縁の厚みを考慮し、本体がボード仕上げ面より引っ込まないよう下図の段差を残して取付けてください。

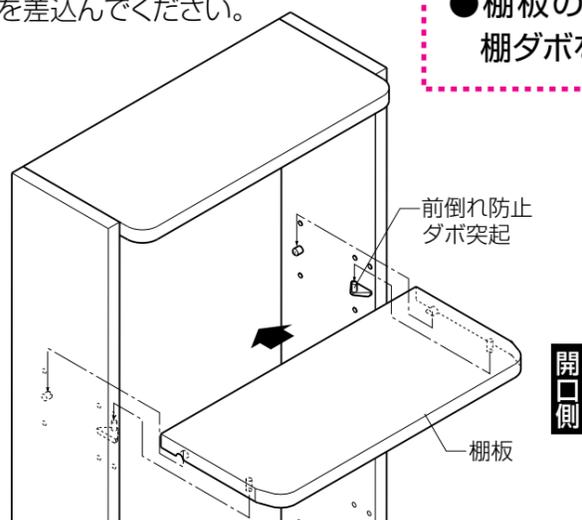


#### 3 棚板の取付け

- ①棚ダボ取付け位置を確認します。
- ②前倒れ防止ダボを、突起側を上にして取付けます。



- ③棚板裏側の穴に、前倒れ防止ダボの突起を差込んでください。



#### ▲注意

- 棚板の取付け時は、同梱の棚ダボを使用してください。

## 【ニッチ台タイプ】

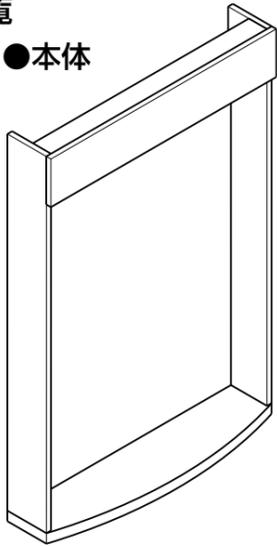
### ■部材・部品一覧表

#### ■部品・部材一覧

- ダウンライト
- 本体



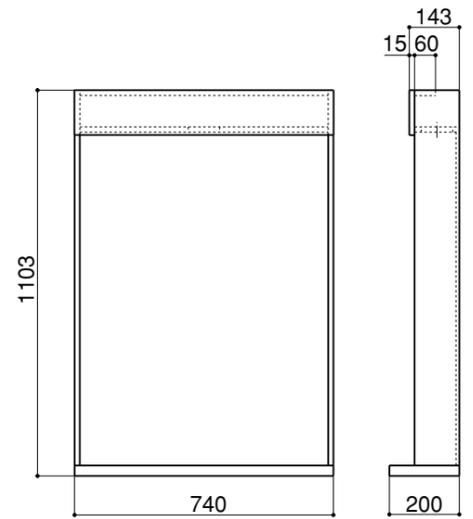
#### ●部品セット



### ■部品セット一覧表

名称	姿図	入数
躯体固定ねじ (φ4.5×50)		6本
躯体固定ねじ用キャップ		6個

### ■寸法図



### ■取付け手順

#### 1 開口部の作成

- 本体の外形寸法に従って開口部を作成し、補助部材 (現場手配) を取付けます。

#### ▲注意

- カウンター強度をもたせるため、必ずカウンター下に補助部材を入れてください。

#### 2 本体の取付け

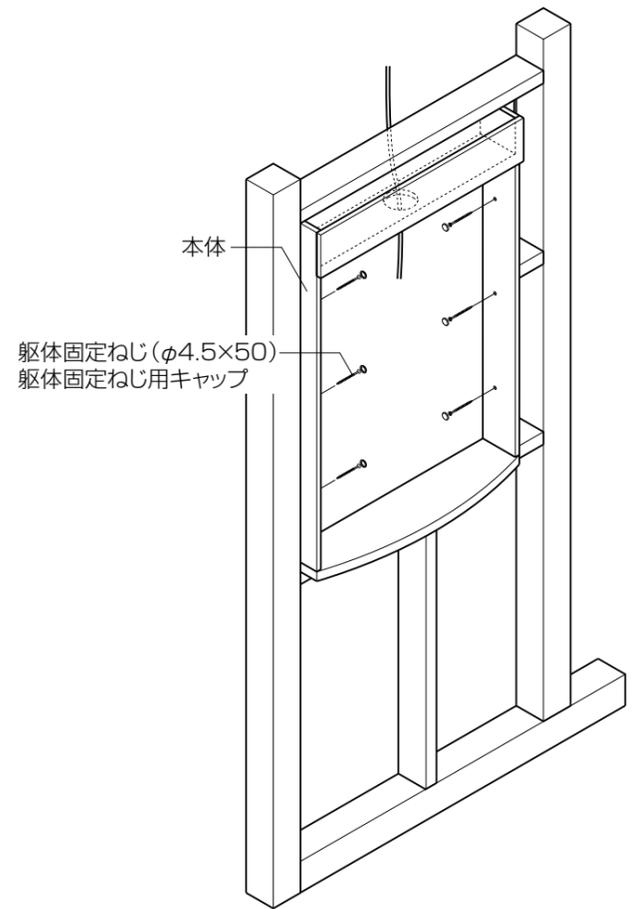
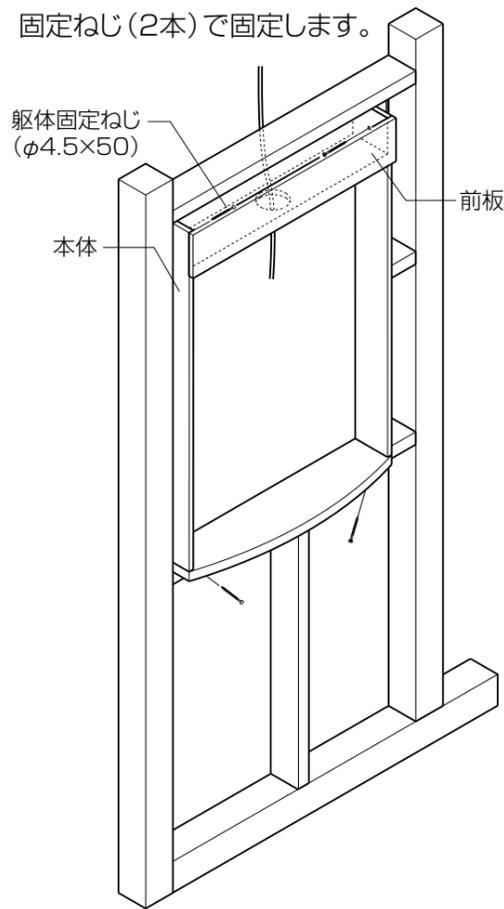
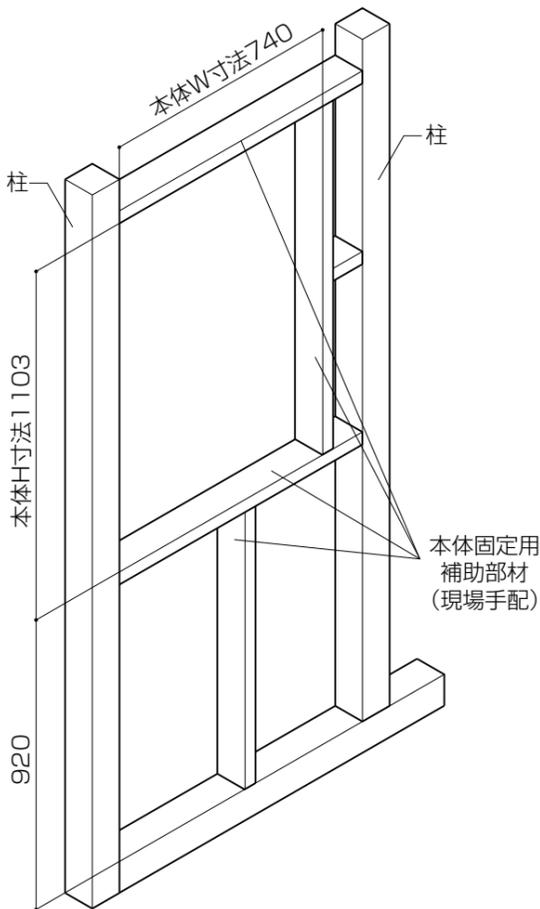
- 電源線をダウンライト取付け穴から引込みながら本体を取付けてください。
- ※スイッチ及び配線用単線VVFケーブル (φ1.6・2mm) は、現場にて手配してください。

#### 【標準取付け方法】

- ①本体を開口部に入れます。
- ②前板の裏側にて固定ねじ (2本) で固定します。
- ③カウンターの下側にて、補助部材とカウンターを固定ねじ (2本) で固定します。

#### 【表面から取付ける方法】

- 本体を開口部に入れ、固定ねじ (6本) で固定します。

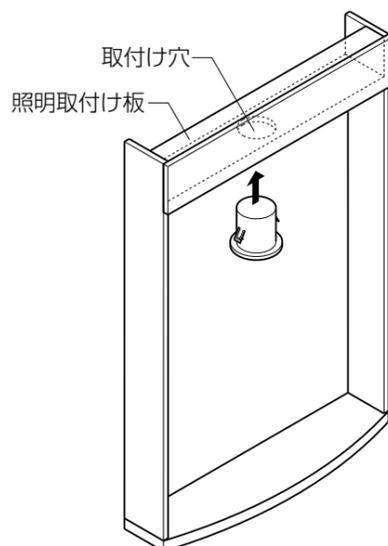


#### 3 ダウンライトの取付け

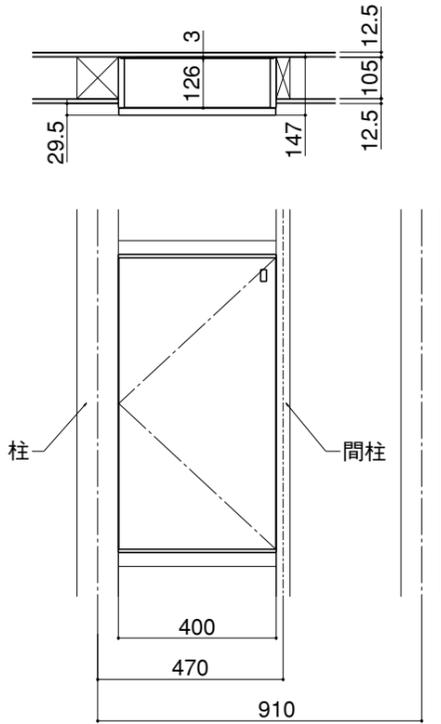
- ダウンライトの取付け金具が左右にくるようにはめ込んでください。
- ※取付け方法の詳細は、ダウンライトに同梱されている取扱い説明書をご覧ください。

#### ▲警告

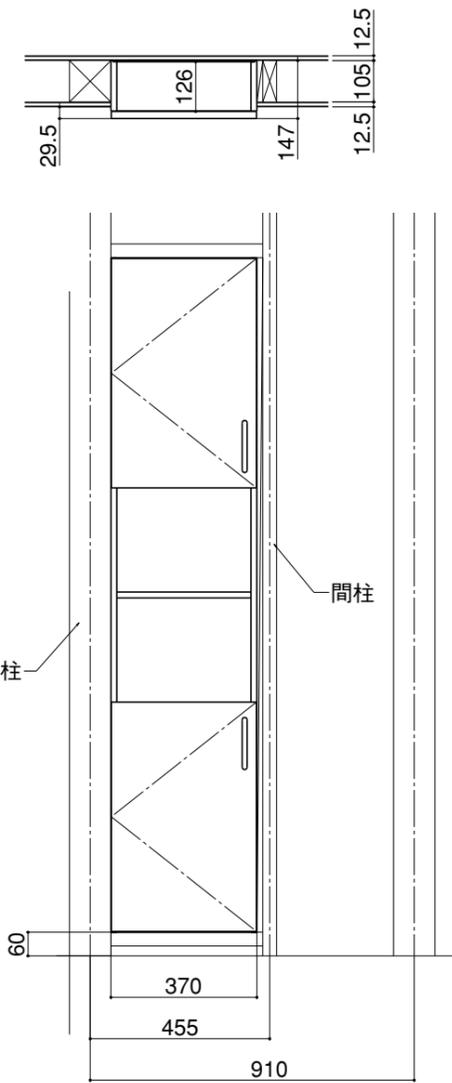
- 電気工事は必ず電気工事士有資格者が行なってください。
- 電源はAC100V以外では使用しないでください。
- ダウンライトの電球は、ミニレフクリプトン電球E-17 (50W以下) 以外使用しないでください。



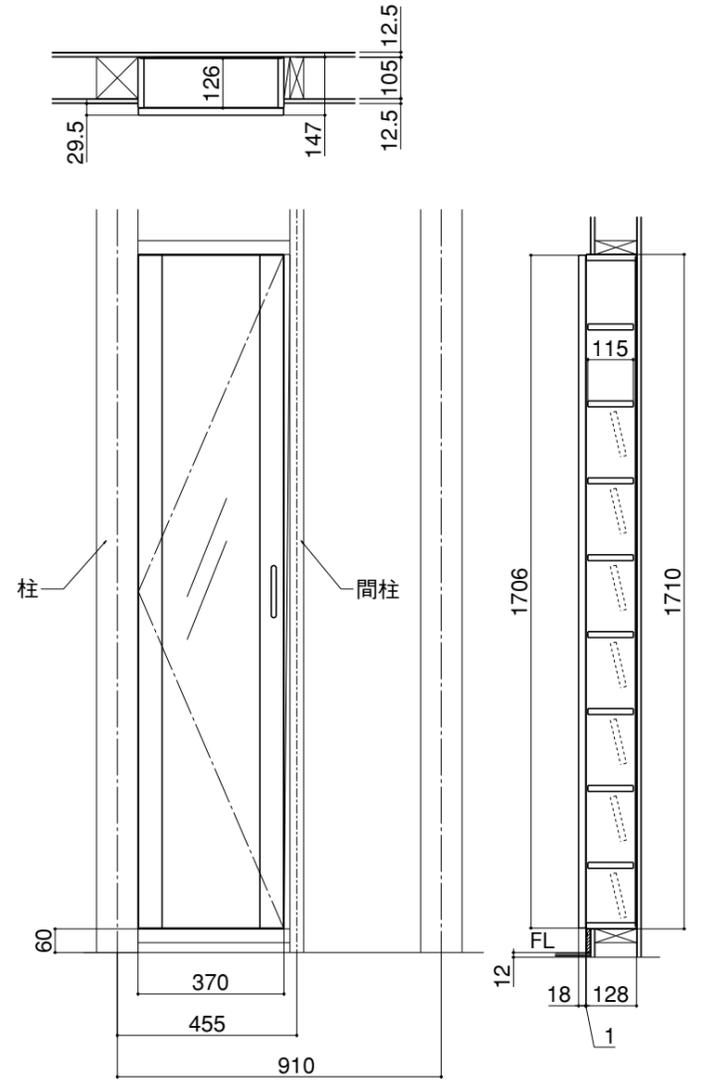
■ミニ扉タイプ



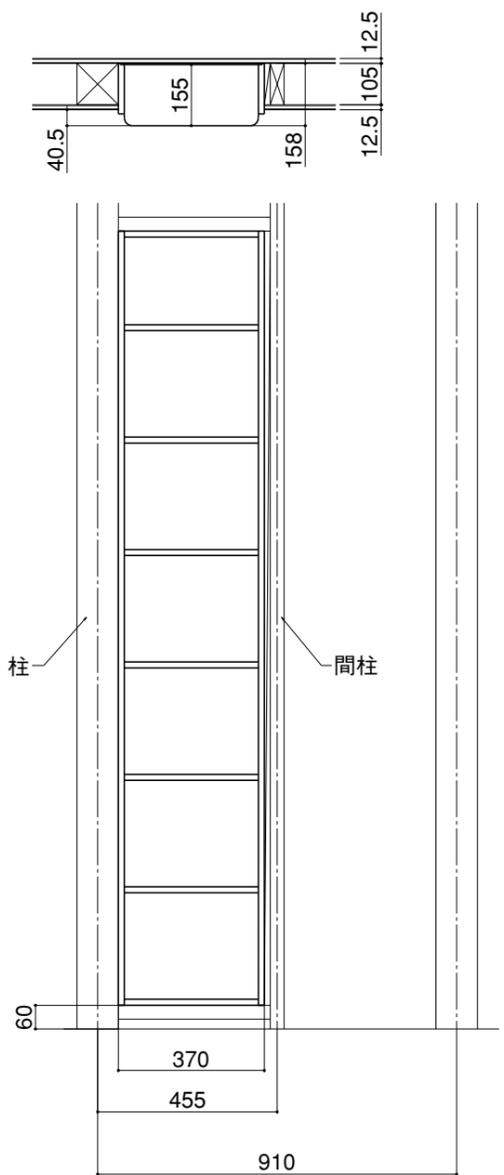
■飾り棚付タイプ



■ミラー扉タイプ



■オープン扉タイプ



■ニッチ台タイプ

